



# 国民春闘共闘

第 22 号

2017 年 3 月 31 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

全印総連

## 統一行動で共謀罪反対を宣伝

確立した産別スト権の行使を呼び掛け、代々木駅頭で 50 人が参加



東京地連は、3月31日の第3次統一行動日を共謀罪反対の宣伝行動日と位置づけ、昼休みに代々木駅頭で実施しました。共謀罪反対で産別スト権を確立しており、この取り組みはその行使を呼び掛けたものです。MIC(日本マスコミ文化情報労組会議)の協力を得て、50人の仲間が集まりました。

・東京地連では回答指定日翌日の3月16日には五つの組合が相互に職場集会を激励、連帯して闘うことを確認しました。

東京書籍出版労組では50人が社前で朝ビラに取り組みました。それぞれの職場ごとにまとめたビラを配布、春闘要求の前進を求めました。

・北海道地連の北海道機関紙は2月1日と3月16日、事業所移転後初めて札幌市北部の手稲駅頭で春闘宣伝を実施しました。

・大阪地連は3月24日、出版労連と合同集会を行いました。例年、合同決起集会としていたものですが、参加しやすい集会を目指して改めたものです。当日は55人が集まり、各職場に呼びかけたアンケートも多数寄せられました。

・福岡地連は3月24日、北九州市にあるプリントパックの工場前で宣伝行動を行いました。各地の

プリントパックを組織化する呼び掛けに応えました。



・愛知地連の中部共同印刷労組は3月16日、前日に出た賃上げ回答の前進を求めて、30分の時限ストライキを決行しました。

## 公務労組九州ブロック連絡会～地域間格差の是正を求めて春闘要求書提出・交渉

公務労組九州ブロック連絡会は3月1日、人事院九州事務局に要求書を提出して、交渉を行いました。九州事務局との交渉は2011年3月に活動を休止以来、6年ぶりです。公務労組連絡会の統一要求に加えて、九州独自の要求として「1、地域手当を廃止し本俸を改善すること。2、本省・地方の機関格差を助長する本府省手当は廃止すること。」を加え、九州のほとんどの地域は地域手当が無い。50歳4-67号の国家公務員を例にとれば2005年に比べて2016年は月27,500円も賃下げになっている。地域手当や本府省手当は地域間格差を広げており、民間賃金への悪影響も懸念される。官民比較企業規模は1,000人以上に引き上げるよう求める。退職金は重要な労働条件であり、単純な民間との比較による引き下げでなく、公務の特殊性に則して、人事院として改善にむけてとりくむよう強く要求しました。

## 自治労連～3・16 全国統一行動の取り組み

### ・学習も宣伝も！～盛岡市職労

盛岡市職労は、盛岡、都南、玉山の各庁舎前でチラシ配布宣伝行動に取り組み、盛岡市職労現業評議会は「学習決起集会」を開催、終了後は懇親会をおこない団結をさらに固めました。

### ・「飴っこ」が好評～久慈市職労

久慈市職労は、久慈市役所本庁舎と山形総合支所等で、早朝チラシ配布行動を行い、300人以上の組合員、職員などに春闘での要求実現を訴えました。今年は、チラシと一緒に「飴っこ」も一緒に配布。

### ・昨年に続いて増員実現～大船渡市職労

大船渡市職は、早朝宣伝をおこない国の責任による復興を訴えました。団体交渉では、平成28年度新採職員（任期付き含む）を明らかにさせ、昨年度に引き続き一般事務職員、専門職ともに増員を勝ち取っています。

### ・支部宣伝、地域集会に結集～一関市職労

一関市職員労働組合は、早朝ニュース配布とあわせて春闘アピール用ティッシュも配布。夕方18時30分から一関文化センター前庭で行われた両磐地区決起集会に参加。集集会終了後はデモ行進をおこないました。

### ・「組合が頑張らないと」と市民が激励～静岡自治労連

静岡自治労連は、静岡県評などとJR静岡駅前では早朝宣伝を実施後はJMITU通信本部静岡のストライキ支援に駆けつけました。伊東市職労連は、市内5駅で駅頭宣伝にとりくみ市民から「頑張ってください」という応援や、「残業100時間を認める働き方改革はとんでもない」など激励の言葉が寄せられました。熱海市職連は朝、出勤する職員に対し春闘ビラを配布しました。焼津現業労組は退庁時集会を開催し、要求書を提出。浜松市職も人事委員会に要望書を提出し、賃金労働条件改善の要請をおこないました。

### ・地域の仲間と終日行動～和歌山自治労連

和歌山自治労連は、和歌山県地評などとJR和歌山駅前では早朝宣伝行動、決起集会、昼休デモ、支援行動などに終日とりくみました。昼休みデモは、和歌山市役所をスタートし、吉宗像前まで民間・公務労組とともに行進しました。翌日は、橋本市職・和水労が春闘交渉を実施しました。



**STOP 暴走政治！ 守ろういのちと平和、そして憲法賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興で地域の活性化**